

中央小だより

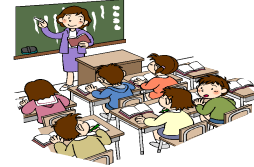
〈中央小の教育〉

子どもが生きる温かな学校
なかよく・かしく・たくましく

U R L : <http://www.town.tamamura.ed.jp/chuo-e>

E -maill: chuo-e@town.tamamura.ed.jp

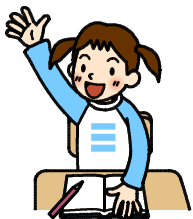
学校評価の結果をお知らせします No.2



今回はⅡ（確かな学力）とⅢ（豊かな心）についてお知らせします。

よく当てはまる + だいたい当てはまる

評価対象	評価項目	保護者	児童
Ⅱ 確かな学力	4 お子さんは、学校の授業の内容をよく理解していますか。 先生は、分かりやすく授業をしてくれたり教えてくれたりしますか。	92	88
	5 お子さんは、教科などの基礎的・基本的な事項が身についていますか。	81	
	6 お子さんは、家庭で各学年の目標「学年×10分」に応じて、学習をしたり、読書をしたりしていますか。	75	
	あなたは、学年目標時間「学年×10分」学習をしたり読書をしたりしていますか。		80
<p>※児童に確かな学力をつけるために、日々授業改善に取り組んでいます。その中心になっているのが校内研修です。今年度は、児童が見通しをもって学習に取り組み、思考する場面を充実させ、「できた」「分かった」と一人ひとりが充実感や達成感を感じる授業づくりを目指してきました。また、ノートの基本的な書き方についても研修を進め、児童の学習にとって効果的な書かせ方を決めることができました。 今後は、さらに質的な向上が図れるよう継続して取り組んでいきます。</p> <p>※家庭学習習慣については多くの児童が習慣になってきているように思います。家庭学習の手引きを活用しての各学年の「チャレンジ10（1年生）～60（6年生）」、自主学習ノート、年3回の家庭学習カードの取組など、ご家庭の協力をいただきながら児童は頑張ってきたと思います。学校でも、自主学習ノートについて学級通信で良い取組例を紹介したり、学習参観や学校公開時に中央玄関に掲示したり、保護者や児童の参考になるようにしました。また、積極的に取り組んでいる児童を児童集会で紹介、称賛する場面も設けました。 今後さらに、意欲の向上や学力の向上が図れるよう、学校と家庭が連携して、取り組んでいきたいと思ひます。ご協力をお願いいたします。</p> <p>※社会や教育の現場で「読解力の低下」が心配されています。読解力を向上させるためには、国語の授業とともに、まとまった文章を読んだり、読んだことをどう考えるかなどの「読書」の必要性をあげています。また、新聞の社説や記事などを読んで、考えるということも有効であると言われていひます。 学校でも読書を勧めています。毎月実施していただいているお話の会の皆さんによる「読み聞かせ」を継続していただき、児童の本への興味や関心が高まっています。また、「親子読書」では本を読んだ後、内容等について親子で意見交流をしていただきました。良い機会であったと思ひます。「子どもが読書好きになるヒントBOOK」を子どもたちに配付しました。ご活用いただけるとありがたいです。 今後も、心を育てるとともに児童の「読解力」向上も視野にいれて、読書活動を推進していきます。ご家庭でもご協力をお願いいたします。</p>			




中央小学校では、より充実した学習になるよう地域や保護者の方々、専門の方々には体験活動等の学習支援をいただいています。子どもたちは本物に触れたり、本物を体験することで学習の意欲を高めたり、興味や関心を深めることで生き生きと学習に取り組み、より深い学習ができ、学力を伸ばすための土台を確かなものにしていきます。

学校評価の自由記述で「社会科見学」「マナー教育」についてのご意見をいただきました。現在も学習指導要領を踏まえ、限られた指導時間を考慮して適切に社会科見学等を実施しています。次年度も学習指導要領を踏まえながら今年度と同様に進めていきたいと考えています。

また、「**学期制**」についてのご意見をいただきました。町の議会だよりにも載っていましたが、町では学期制検討委員会を設けて検討を進めています。

現在は二学期制により、三学期制よりも授業時数が増えています。その分、体験学習や親子行事、個に応じた学習等、子どもたちにとっての豊かな体験活動や学習活動に増えた時間をあてることができています。子どもたちが学習内容を理解していくには個人差があります。教科担当制により専門的に指導したり、算数では少人数学級で指導をしたり、学校では個々の児童に寄り添いながら学習指導を進めています。そのため、通常の指導時間数よりも指導時間を増やして理解しやすいように計画的に授業を行っています。また、二学期制では通知表等の事務処理の時間が減るため、休み時間や放課後等で児童と教師が学習指導や相談活動などの時間を生み出すことができ、児童の学校生活を安定したものにできています。学校では、現在実施されている二学期制の特徴を踏まえて効果的な教育活動が実施出来るよう取り組んでいます。

「**学校での習い事**」は実施していません。町の社会体育等の活動でサッカーや野球などの団体に体育館や校庭を開放しています（町の健康福祉課が担当です）。

評価対象	評価項目	保護者	児童
	7 お子さんは、自分から進んであいさつをしていますか。	70	
	あなたは、自分からしっかりあいさつをしていますか。		84
	8 お子さんは、時と場・相手に応じた適切な言葉遣いができていると思いますか。	75	
	あなたは、先生や大人にいい言葉で話ができますか。		80
	9 お子さんは、楽しそうに学校へ通うことが多いですか。	87	
	あなたは、学校が楽しいと感じることが多いですか。		84
	10 学校は、いじめのない学校づくりに努力していると思いますか。	83	
	あなたは、友だちにいじめられることなく、安心して生活していますか。		86
	11 お子さんは、相手の立場に立って、物事を考えたり、家の約束を守ったりすることができますか。	81	
	あなたは、人の気持ちを考えて、話をしたり、家の約束を守ったりしていますか。		87
	12 あなたは、学校の決まりを守って生活していますか。		96
	13 お子さんは、家族の一員として、お手伝いをしたり、家庭のルールを守ったりして生活していますか。	80	
	あなたは、進んで家の手伝いをしたり、家の約束を守ったりしていますか。		81
<p>※挨拶、言葉遣い等、社会性を育むよう学校生活のいろいろな場面で指導を継続しています。特に挨拶は、出会った時に、元気に挨拶を言える子、小さな声の子、言葉はないけれど会釈ができる子等、個人差があります。頭で考えて挨拶するのではなく、自然にできる児童になるためには、学校だけではなく、家庭で、地域で自然に挨拶のできる環境づくりが必要であると考えます。ご協力をお願いいたします。言葉遣いについては発達段階に応じた指導を継続していきたいと思っております。</p> <p>※学校は集団生活の中で人間関係づくりの学習をしていきます。お互いを理解し、より良い関係づくりをしていくことやルールを守ることでお互いに気持ちよく生活できること、人や学級集団のために役立つことの気持ちの良さを味わえるような活動を行っています。これも社会性を育むことにつながっています。次年度も継続して、子どもたちが充実した人間関係を育めるよう、気持ちに寄り添いながら指導をしていきます。</p>			